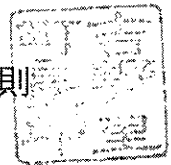


吉 建 第 2 1 3 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長様

吉野ヶ里町長 江 頭 正 則



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

標記のことについて、平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼があった今後の道路行政についての意見・提案について別紙のとおり報告します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

佐賀県 吉野ヶ里町

吉野ヶ里歴史公園を核とした道路網を整備し、日常生活や産業活動はもとより、観光ルートとしても充実した道路整備が必要である。

慢性的な交通渋滞を抱えた主要国道34号線は、県内観光ルート・都市部へのアクセス道路として欠かせない道路であり早急な改善が必要不可欠である。

そのためには、主要国道のバイパス・拡幅改良・主要地方道とのアクセス等が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

佐賀県 吉野ヶ里町

○現状

道路・交通網は、活力ある産業活動や便利で快適な日常生活を支えるとともに、人々の交流を促進する重要な基盤である。

本町の道路網は、長崎自動車道が町の中央部を横断しており、東脊振 I.C が設置されている。

また、国道は、主要国道 34 号が東西に横断し、一般国道 385 号が南北に縦貫している。

さらに、県道は、主要地方道 3 路線と一般県道 5 路線の合計 8 路線、町道については、213 路線が配置されている。

国道 385 号は、平成 18 年に東脊振トンネルが開通し、福岡都市圏との交流基盤が一層強化された。

これらのことから、本町は、利便性の高い道路網が形成され、広域的アクセスに恵まれていると言える。

しかしながら、交通量の増加や車両の大型化が進む中、より一層安全で便利な道路網の整備が求められている。

○課題

定住・交流人口の増加や産業振興、均衡あるまちづくりなど、町の一体的・持続的発展を見据え、恵まれた交通立地条件を生かす視点に立ち、計画的な土地利用のもと、魅力ある市街地の形成や定住基盤となる住宅・宅地の整備、人・物・情報の交流を一層促進する道路・交通・情報ネットワークの整備など、便利で安全な都市基盤づくりを進めていく必要がある。

特に、主要国道 34 号は、朝夕の通勤時間に限らず、慢性的な交通渋滞に周辺住民も迷惑している状況にあることから、早期の解消が望まれる。

また、社会・経済情勢の変化を踏まえ、将来を展望した道路体系の総合的な見直しが課題となっている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

佐賀県 吉野ヶ里町

町の一体的・持続的発展に向け、恵まれた交通立地条件を生かし、さらに高める視点に立ち、計画的かつ調和のとれた土地利用を推進する。

また、これに基づき、人々が集う魅力ある市街地の形成や、定住基盤となる快適な住宅・宅地の整備を進めるとともに、国道 385 号の歩道整備をはじめとする国・県道の整備促進、町道の整備、鉄道交通やバス交通の利便性の一層の向上、電子自治体の構築と地域情報化を図り、定住と人・物・情報の交流を促進する便利で安全な都市基盤づくりを進める。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

佐賀県 吉野ヶ里町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	市街地の形成	商店街の活性化	
・ 定住基盤の確保	快適な住宅・宅地の整備	人口の増加	
・ 国、県道の整備促進	国道 34 号の慢性的な交通渋滞の解消	安全・安心な社会の実現	